

別記様式第3号（第6条関係）

会 議 記 録

次のとおり附属機関等の会議を開催したので報告します。

附属機関等名称	近江八幡市廃棄物減量等推進審議会		
開催日時	令和5年10月27日(金) 15:00-17:00		
開催場所	近江八幡市役所 4階 第3・4委員会室		
出席者 ※会長◎ 副会長○	<p>出席者（敬称略）</p> <p>審議会委員</p> <p>◎奥田 哲士 ○和田 有朗 ・丹波 喜徳</p> <p>・吉田 栄治 ・西村 則子 ・中江 しげ子</p> <p>・木田 幸司 ・高木 敏弘</p> <p>事務局</p> <p>環境課 課長 中嶋 武志</p> <p>課長補佐 村岡 亘 主任主事 小崎 竣矢</p> <p>主事 西中 克季</p>		
次回開催予定			
問い合わせ先	<p>所属名：市民部 環境課</p> <p>担当者名：小崎</p> <p>電話番号：0748-36-5509</p> <p>メールアドレス：010602@city.omihachiman.lg.jp</p>		
会議記録	発言記録 ・ 要約	要約した理由	長時間の会議につき、内容を整理したため
内容	<p>◎会長、副会長の選出</p> <p>近江八幡市廃棄物減量等推進審議会の会長を事務局案で推薦。規則に従い会長が副会長を指名。</p> <p>近江八幡市食品ロス削減推進計画評価部会の委員、部会長を規則に従い会長が指名。</p>		

◎令和4年度のごみ排出量について

令和4年3月改訂の一般廃棄物（ごみ）処理基本計画に令和4年度速報値を反映し作成した。

○委員からの主な意見

・リサイクル率がここ2年で上昇している原因が、再生活用業許可事業者による伐採した木の再生利用ということであれば、ごみに出される木を少しでも上記の事業者へ搬入してもらおうよう進めるのもよいかもしい。

・埋立地があと10年程度で残余容量が無くなるのであれば、今後の対策として民間事業者と何かしら繋がりを作っておいたほうが良いのではないかと。

・埋立地の覆土の量について、残余量も少ないので減らせるように創意工夫してはどうか。

・市全体のごみの量は分かるので、デジタル機能を使ってさらに細かく（学区単位等）分けたデータを作成できれば地域に合わせたごみの減量対策を打てるので検討してほしい。

・ごみを減らすために各団体が何を取り組んで行くべきかを具体的に提示してほしい。

・新型コロナウイルスの影響も少なくなっている中で、宴会時の食べきり運動等を浸透させていくよう行動してはどうか。

◎食品ロス庁内調査について

市役所内の各課や給食センター、幼稚園等の取り組みを集約し作成した。

○委員からの主な意見

・給食の残食について経年の数値をデータ化することや、就学前後の子ども達への残食をしないように意識付けを行うことは、ごみを減らすためには重要だ。

	<ul style="list-style-type: none">・給食の残食を焼却処分するのではなく、どうにかリサイクルできるように何かしらの手段を講じてほしい。・災害備蓄品を配布する際には、賞味期限と消費期限の違いを周知できるような形をとってみてはどうか。・災害備蓄品をフードバンクに活用いただけないか相談してはどうか。
--	---